

## 情報（処理）教育研究集会について†

概要： この集会は今年度で 20 回目となり、この関連分野ではもっとも多くの参加者、発表者のある国内集会となっている。しかし、その背景、歴史についてはあまり知られておらず、記録として残しておくことは重要であると考え、関係者にお話を聞いて以下のようなまとめを作成した。今後の我が国の情報教育の発展のための基礎資料となることを願っている。時間の制約から限られた人数の方々への問い合わせを基に作成しており、事実関係の誤りもありうるので、間違い等に気がつかれた方はご連絡いただければ次の機会に改訂を行いたい。

情報処理教育研究集会（以下「研究集会と略記」）は、「国立大学情報（処理）教育センター協議会」（以下「協議会」と略記）のメンバー校により持ち回りで開催されてきた。これまでの開催校を末尾に載せる。この協議会、研究集会の歴史は我が国の情報教育に関する高等教育政策の流れと密接に関連している。

1972 年の東京大学を皮切りに、1981 年までに各地で「情報処理教育センター」が設置された。これは文部省で策定された「情報処理教育振興策」、「情報処理教育センター計画指針」に基づいている。

1985 年から翌 1986 年にかけて、文部省審議会、及び協力者会議で、「情報化社会に対応する初等中等教育の在り方」、「大学等における情報処理教育の基本的あり方」の報告が出され、これに基づき、情報工学部、工学科の設置があいついだ。

しかし、1987 年の文部省の試算では、情報関連の専門学部・学科の整備・拡充・新設などを積極的に進めるが、それだけでは、到底、情報関係の人材を確保するのは不可能とし、情報専門学部学科以外のすべての学生に対する情報処理教育（一般情報処理教育）が重視されるようになった。

このような流れの中で、文部省主催で「情報処理教育研究集会」が 1988 年より始められた。この集会の対象範囲に「情報教育（情報を専門とする学科の専門科目の授業を除く）を担当する教職員」と記されているのは、このような政策の反映ではないかと思われる。（この「情報を専門とする学科の専門科目の授業を除く」という記載は 2006 年度より外された）

† この記録は、平成 18 年度担当校が、岡部成玄（北海道大学）、中西通雄（大阪工業大学）、静谷啓樹（東北大学）の諸氏より提供された資料を基に作成し、平成 19 年度担当校が微修正したものである。三氏のご協力を深く感謝する。

1996 年、文部省は、「マルチメディアを活用した二十一世紀の高等教育の在り方について」の報告をまとめた。これにもとづいて、1997 年より情報処理センターの改組が進んだ。

1997 年 京都大学総合情報メディアセンター  
室蘭工業大学情報メディア教育センター  
1998 年 名古屋大学情報メディア教育センター  
1999 年 北海道大学情報メディア教育研究総合センター  
2000 年 名古屋工業大学情報メディア教育センター

大型計算機センターと統合した情報基盤センター関係は以下のようなものである。

1999 年 東京大学情報基盤センター  
2000 年 大阪大学サイバーメディアセンター  
九州大学情報基盤センター  
2001 年 東北大学情報シナジーセンター

2003 年までは、研究集会は文部省/文部科学省と現地開催担当校の共催であったが、2004 年より文部科学省は主催を降りた。これは当時の補助金の一律カットという行政改革の 1 つであったようだが、高等教育での情報教育の政策が未だ持たれていないことの帰結かもしれない。実際、近年の情報化に伴う社会の変化は大きく、高等教育においても単一の目的を掲げることは難しくなっているが、一方、高等教育における情報の持つ意味は年々重くなっている。

- ネットワークの発展に対応した情報倫理教育
- 学内教育インフラとしての情報環境
- 高校の教科情報必修化に対応した大学教育

など、高等教育の現場で対応していかなければならない課題は多い。本研究集会でも、当初の情報処理教育に加えて、多様な問題が議論されるようになってきている。

情報（処理）教育研究集会 開催校

第1回	1988年 (S63)	九州工業大学
第2回	1989年 (H01)	東北大学
第3回	1990年 (H02)	京都大学
第4回	1991年 (H03)	東京大学
第5回	1992年 (H04)	北海道大学
第6回	1993年 (H05)	名古屋大学
第7回	1994年 (H06)	九州大学
第8回	1995年 (H07)	大阪大学
第9回	1996年 (H08)	名古屋工業大学
第10回	1997年 (H09)	室蘭工業大学
第11回	1998年 (H10)	九州工業大学
第12回	1999年 (H11)	東北大学
第13回	2000年 (H12)	京都大学
第14回	2001年 (H13)	和歌山大学
第15回	2002年 (H14)	東京大学
第16回	2003年 (H15)	北海道大学
第17回	2004年 (H16)	名古屋大学
第18回	2005年 (H17)	九州大学
（情報教育研究集会に名称変更）		
第19回	2006年 (H18)	広島大学
第20回	2007年 (H19)	大阪大学
第21回	2008年 (H20)	九州工業大学（予定）

